

<第2号通信>



ACT Japan 年次ミーティング2024 in Nagoya

2025年 3月15日 (土) ・ 3月16日 (日)



ACT 百景

— 私たち, それぞれの ACT の活かし方 —

February 2025 発刊

大会テーマ

ACT 百景

— 私たち, それぞれの ACT の活かし方 —

ACT Japan年次ミーティングには, ここ数年, **100名**以上の方が参加されるようになってきております。また, 近頃では, 会員の職種や領域も幅広くなっており, ACTが活用される場も広がっているようです。そのような中で, 今回の年次ミーティングでは, **参加者がそれぞれの立ち位置から, ACTをどのように眺め, どのように自らの仕事に活かしているか, 持ち寄れる場となれば**という思いを含め, このようなテーマで進めたいと考えております!

少しでも『百景』に近づくように…!? 沢山のご参加をお待ちしております!



2024年度 年次ミーティング開催責任者 酒井美枝 (名古屋市立大学大学院)

大会概要

日時・開催方法

参加費

日時

2025年3月15日 (土) ・ 3月16日 (日)

一般会員 : 5,000円

学生 : 2,500円

非会員 : 8,500円

開催方法

対面

会場 = ウィンクあいち

(愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

大会議室1001 + 一部, 中会議室1003

(両会議室は同フロアです)

※会員区分での申込みには,
今年度の学会年会費の納入が必要です。

※学生の参加費は, 会員・非会員ともに2,500円となります。非会員の学生の方には, 会場で学生証を提示いただけます。

※一部プログラムは録画し, 会員限定 (年次ミーティング不参加者含む) での無料配信を計画していますが, 機材状況等により実現できない場合があります。録画の質等は保証できかねますので, 予めご了承ください。少なくとも事例検討・ポスター発表の録画予定はありません。

※参加登録 (申込) : 満員御礼!

(以前よりご案内しておりました通り, 申込が定員に達したため, 2月21日付で参加申込は締め切らせていただきました。追加での申込受付, キャンセル待ち, 現地での当日参加受付は一切いたしませんので, 予めご了承ください。)

プログラム 1日目

2025年3月15日 (土)

9:30~	開場・受付開始	大会議室1001
10:00~10:15	オープニング (趣旨説明) 挨拶：開催責任者 酒井美枝	大会議室1001
10:20~11:45	中・上級者向けワークショップ 講師：大月 友	中会議室1003
10:20~11:45	初級者向けワークショップ 講師：首藤祐介	大会議室1001
12:30~13:45	休憩	大会議室1001
13:45~14:45	教育講演① 司会：酒井美枝 講師：武藤 崇 『ACTユーザーの密かな愉しみ』	
15:00~16:30	大会企画シンポジウム① 『私から見たACTの景色と活かし方：医療編』 司 会：柳澤博紀 話題提供：岡本利子 (リハビリ), 加藤宏公 (看護), 光定博生 (精神科リエゾン)	
16:45~18:00	ショットガンプレゼン (5分×学術発表) 司会：嶋 大樹・井上和哉	
18:10~19:30	ポスター発表 (学術発表・情報共有) ・前半組 在籍時間18:10~18:50 ・後半組 在籍時間18:50~19:30	中会議室1003 大会議室1001
19:30~19:40	1日目クロージング	大会議室1001

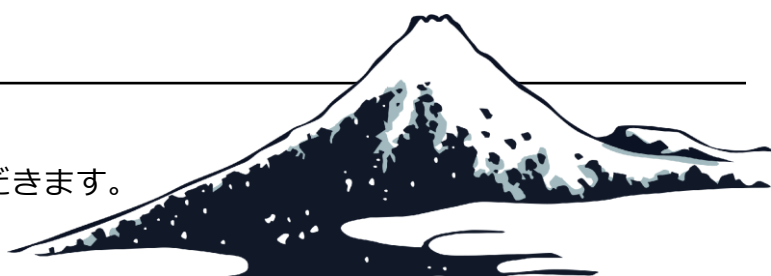
※懇親会なし

プログラム 2日目

2025年3月16日 (日)

9:30~	総会 司会：ACT Japan理事長 大月 友	大会議室1001
10:00~11:00	教育講演② 司会：茂本由紀 講師：谷 晋二『ACT Japanの来し方行く末』	
11:15~12:45	大会企画シンポジウム② 『私から見たACTの景色と活かし方：予防編』 司 会：渡辺孝文 話題提供：津田菜摘 (スティグマ) , 渡辺孝文 (教育) , 林 幹浩 (職域)	
12:45~14:00	休憩	
14:00~15:00	大会企画シンポジウム③ 『私から見たACTの景色と活かし方：手法編』 司 会：瀬口篤史 話題提供：三田村 仰 (オンライン) , 大月 友 (デジタル)	
15:15~16:15	事例検討 発表者：服部正嗣 『勉強に伴う身体症状を訴える10代男性に アクセプタンスを用いた介入を行った事例』 コメンテーター：高橋 稔	
16:15~16:30	閉会 準備委員/STAFF	

※事例検討に際しては、当日、
守秘義務の誓約書へのご署名をいただきます。



—— 教育講演 概要 ——

教育講演①

2025年3月15日（土） 13:45～14:45 大会議室1001

講師：武藤 崇

『ACTユーザーの密かな愉しみ』

対人援助文脈では、その営為そのものについての「愉しみ」を公言することは憚れるものです。しかし、「好きこそものの上手なれ」という諺にあるように、その営為の中に「密かな愉しみ」があるはずです。そして、その愉しみの中に「その人の倫理や価値」が反映しているかもしれません。本話題提供が、今回の年次ミーティングでの交流の「呼び水」となれば幸いです。

教育講演②

2025年3月16日（日） 10:00～11:00 大会議室1001

講師：谷 晋二

『ACT Japanの来し方行く末』

初めて公の場でACTという名前が使われたのは1991年です。1996年にはACTの臨床マニュアルが出版され、ACTの哲学的、理論的、実践的な基礎がだんだんと確かなものになっていきました。2006年にはACBS（Association for Contextual Behavioral Science）が設立され、ACT Japanは4年後の2010年に設立されました。それから15年が経ちました。その間のACT Japanの成長の経過をACTの発展の経過とともに振り返っていきます。2021年に出されたACBSのTask Forceから、今後の課題に関連する重要なトピックスを紹介します。演者の個人的なACTの学びのストーリーを紹介し、ACT Japanに今後期待することについてお話をしていきます。



STAFF

準備委員



瀬口 篤史（西知多こころのクリニック）



渡辺 孝文（名古屋市立大学大学院）



柳澤 博紀（犬山病院）

開催責任者



酒井美枝（名古屋市立大学大学院）

お問い合わせ：ACT Japan年次ミーティング2024運営事務局
act.japan.annual@gmail.com